

'22春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

神奈川労連 22春闘サイト開設
最新の春闘情報を順次掲載いたします。

2022
春闘

誰もが
人間らしく暮らせる
新しい社会へ

大企業や
富裕層の
利益優先NO



3・2 中央行動

22国民春闘の勝利をめざし、3月2日に国民春闘共闘委員会の主催で中央行動がとりくまれました。

昼休みの時間帯に、日比谷野外音楽堂で決起集会が開催され、会場に350人、オンラインで400人が参加しました。国民春闘共闘の小畑代表委員(全労連議長)は、ロシアによるウクライナ侵攻を厳しく非難。国民春闘では、大幅賃上げ・底上げの実現をめざして運動を大きくとりくむことを呼びかけました。

連帯あいさつ、国会報告

全労協の渡辺議長が連帯あいさつし、「健康で文化的な賃金を求めよう」と訴えました。

国会報告として日本共産党の志位衆議院議員は、ウクライナ情勢に悪乗りして、憲法改悪や核兵器保有の議論が、自民党や維新の会からおこっていることを厳しく非難。「賃金を引き上げるために、政治にできることがある」と述べ、特に大企業の内部留保に課税し、最賃引き上げに活用することなどを提起しました。

各組織からのアピールとして、全国一般の東電下請けの委託労働者は「労働者の権利を確保するために闘っている」と訴え、東京医労連の仲間は「政府の賃上げ策では分断が起きる。すべての労働者の賃上げをめざす」と決意を表明。全印総連や自治労連の仲間も訴えました。

集会には、神奈川からも自治労連や医労連、建交労の仲間などが参加しました。

集会後に、国会請願デモや国会請願署名についての議員要請がとりくまれ、また産別の独自行動も展開されました。

民間産別のとりくみが進む

ベア4000円の回答

春闘での民間産別のとりくみが具体的に進んでいます。ユーコープ労組では2月12日に、「正規職員などの1万円ベースアップ、一般パートなどの時間額1500円」など基本給と一時金の要求を提出。子会社・関連会社にも要求を出しました。2月26日に「正規4千円、パート時給20円」などのベースアップと一時金の回答が示されました。シニアアルバイト職員については、新たに一時金制度を創設する回答を引き出しています。3月11日までに組合員の意見を集約し、団体交渉に臨むことにしています

「例年以上の回答を」

JMITUは3月9日の回答指定日にむけて、3月2日に回答確約行動を実施。使用者側から「(回答について)例年と同等以上を考慮している。9日に回答予定」、「昨年以上の回答をしたいと考えている」との考えを引き出し、「5桁の賃上げを求めたい」と要求実現をめざしています。

医労連は2月21日に経営要請行動を実施。建交労や全国一般でも要求提出を進めています。建設労連は2月6日に賃金活動者会議を開催し、「月額75万円、年収900万円」の要求賃金を決定し、大手企業交渉などのとりくみを進めることにしています。